

進木

進木【すぎ】…「すぎ」の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。

（杉の木の年輪を模した背景）



第17号

2026年2月 発行

杉中学校でいじめ撲滅するために自分も頑張りたいと思います。すき一ね

1月にすべての学年において、「いじめ防止授業」を実施しました。3年生は道徳教材「卒業文集最後の二行」にて、1・2年生は「いじめの定義」をはじめ、いじめに関することについての確認をしたあと、各クラスで「いじめ防止3原則」を考えました。各学期で1回（年間3回）実施をした「いじめ防止授業」がすべて終了しました。日を追うごとに、生徒同士でのトラブルが減り、自分を大切にする気持ちと相手の気持ちを考え行動する姿勢がみられるようになりました。これからもさらに安全で安心できる杉中を目指しましょう。授業後の振り返りを紹介します。

注意や本音と言ふ合えるふたりきのクラスだよ

いじめは起きないと思う。みんなが

いじめはゼット！（＝ダメだ）を必ず言えよう

クラスにはーたるふたりと思う。

明るい雰囲気を作ること。安心できる環境を作ること。いじめについて考えてること。クラスのみんなが互いのことをリスト化して合意すること。

人の苦しみを軽くみず、周りの人を大切にしないといけない方。調子にのらかに、誠実に生きる真面目な人のこと。いじめられましたが、あたうら他のことをする。

暴力はしないとか決めたけど、結局相手の気持ちを考えないと止めることはできない事と分かって。自分が同じことをされたらどんな気持ちにならのかを考えるのも、一番大切なことだとと思う。

相手のことを考えて行動する。みんなに平等に接する。
助け合う

クラス全員のいじめに対する考え方を変え、いじめでその人の人生をつなげてしまつということを全員知り、口調をやさしくする。遊びでもいたいたり暴言を言わないと。

・スルースキルを身につける
・うわさを証拠として信用しない

いじめには第三者なんて存在しないからクラス丸となっていじめを未然に防いでいたいと思いました。またクラスで互いに協調しながら、いじめが起きにくくなる環境・雰囲気をつくるために積極的にユウザーショーをとめたがっていいと思います。

いじめを防ぐために自分、クラスができることをしっかり考えることができた。クラスの目標OTTをこれから意識してやっていかたい。来年もいじめはいけないこととそれを見ている人や笑っている人もいじめになることを頭にいれてください。いじめを見つけたら、大人にさうだんしたり、見つるだけにならないようにしてください。これからも助け合っていきたいと思った。

人はそれだけで連絡して、相手に自分の連絡をいやがたり、マイナスな気持ちになる、これがよくあります。でも、自分の意見を相手に伝え、イヤイヤ中の個性を認めあうように答へたり、違う意見を相手へ思わず、自分もしくは少し、相手のこと理解してより良い関係に至る際はしたなので、自分が今まで気持ちのめしめたり相手に伝えることは、これからも大切にいきたいです。そして、今自分の状況が強にならぬ、無理に向こう合おうじせず、時には逃げることで、選択肢としてあります。

今日の授業では、クラスの中でいじめが起らないよう原則を考えて、「暴力をしない」とかじやなく、ニクレに「暴力しない」が大切だと分かった。いじめがだめなのも、だめな理由も分かって3つもりでも、誰かを傷つける行動をしてしまうところがあるから、今日考えたことを常に頭に置いておきたいと思う。

確実にしっかり立ちあそぶつけてます。

これからも考えるべきかあから、今日忘げなかったことを鬼りをして、いじめについて答えてきました。と點をいた。

どんな理由があつてもいいじめることは絶対にしてはいけない。ことだから、みんなが優しい気持ちで人と関わることができたらいいなと想う。来年度は3年生になるからいいじめがない最後の中学校生活にしていきたい。

今日の授業では、クラスの中でいいじめが起らなければ原則を考え、「暴力をしない」とかじやせん、ニクレたり暴力しないが大切だ」と分かった。いいじめがだめなものも、だめな理由も分かってろつもりでも、誰かを傷つける行動をしてしまったことがあるから、今日若またニトを、常に頭にかいておきたいと思つた。

今日の授業で、いいじめをなくすための三原則を考え、クラスで決めて、自分では3つはみてみたが、りきねい。暴力をされない、自分にされて嫌なことはしないで思つた。だから自分は加害者・ほうかん者、どの人も暴力をされないように、いいじめをやつさない、親切で話をしたりはできるから、自分ができる限りのことは最大限についたいし、自分がいいじめられるともはらばはうにしないで思つた。来年も同じようにつけて学びと暮ろげて、自分には関係ないがいやなくて、いつも自分がどの立場にはないかわからん、ほんたうにちゃんと受け止め来年も学びたいと思つた。これがいいじめがほんまに自分にできることはちゃんとじつからこれがちからで意識をちゃんと持つて過ごしたいと思つた。

学期の始まりに毎回やるけれど、いいじめについて考えて、能力が上がっていると感じたから、来年も土上へ上げようとした。と、習ったとまでは行動できることはうらしく、今まで思つた。

この授業はもう6回目だから結構理解してきて、よくどうだからこそ気がゆるんできてしまつて気づかなかつた。うちにはじめてしまつて、なぜするのか、どうをつけてやつたか、思つた。無意識にしてしまうのが一番怖いから見ついたら助けてあげたいし、自分に何かできることがあったらやかかしてあげたいと思つた。

いいじめはよくない。いいじめについて考える時間はとても大切だと思つた。今回の学習いいじめは、わりに流れられてはやかく、おきてしまつたと感覚にから、わりに流れはれないと、これから的生活でも意識して行動しようと思つた。また、今回決めて、クラスでの三原則も意識して行動する。

今日の授業を聞いてこの時代はすでにいいじめにならぬいやつはいるのか、こととした。自分が「どうしてやつにはならず」に「大丈夫?」とかをきいて先生や周りの人へそだんするなどのいいじめをなくすようなこうどうをしました。

ねんせい じっし かいとう かんそう しょうかい ～3年生で実施した「SST～怪盗フクロウ～」の感想を紹介します～

・(課題の解決に向けて) 役に立ちたいし、情報の整理を口に出して言ってしまうから迷惑になるかなって思っていたけど、間違つて言った時は班の人が正してくれたり、聞いたことを何度も教えてくれたりして、しかも「〇〇ちゃんおらんかったらムリやつた」「そこに✓でいいの!?」とか言ってくれて、ちゃんとできてよかったと思った。間違えたり足をひっぱつてしまつのが怖いけど、班の人を信じて、間違えても互いに話し合つて正し合えるような話し合いの仕方が出来ると良いし、そんなことをできる人でありたいと思った。

・今回のグループ学習を終えて、1人だけでしていたら難しかつただろうけど、みんなと協力して課題の答えのヒントとなるものをメモしていって、集めたものを合わせていつたら答えを得ることができたので、協力する意識の大切さを詳しく理解することができた。

・協力することはとても大事だということに気付いたし、伝えないと始まらないので、伝えるのは大事だということも気付いた。

AI(人工知能…ChatGPTやGoogle Geminiなど)をはじめとする最先端技術産業の急速な発展が進む現代社会において、人間の役割(仕事)がどんどんロボットやコンピュータにとって変わってきています。例えばデータ入力で集計・分析する仕事、コンビニやスーパーのレジ、ホテルのフロント、飲食店での注文や会計をするホールスタッフ、コールセンター、翻訳や通訳の仕事など…。

AIは生活が便利になるために、「人」によって生み出されたものです。これまで人の作業によって時間がかかっていたものが、AIの誕生によって作業が効率化し、「人」は新たな時間を得ることができました。その時間を使って、これからどんどん新しいものを生み出していくことが可能となります。これから先どんな未来が訪れるのかがまったく予想できない今だからこそ、「人の価値」が問われる時代となっています。自分を磨き(ジリツ)、人と人が繋がっていく力(共生)を伸ばしていくこと(チャレンジ)が大切であり、「人の価値」として求められています。

人と人が競い合う・高め合うことはあっても、争い合う・傷つけ合うようなことをしている場合ではありません。自分を磨き、人と人が繋がっていく力を伸ばしていくために、一人ひとりにとって安全で安心できる杉中をつくっていきましょう。

